



尾崎市長に予算要望書を提出

令和2年度予算編成に対して、最重点要望8項目

- ①小中学校のエアコン設置
- ②防犯カメラ設置拡大
- ③家庭ごみ有料の市民負担の軽減
- ④「子育てしやすいまち」のシンボルとなる公園整備
- ⑤平和・文化・芸術の総合的な振興
- ⑥全世代対象の「健康ポイント制度」の創設
- ⑦国民健康保険税の抑制
- ⑧「財政の見える化」の推進、財政白書の作成

を含む、121項目について予算要望を行いました。



令和元年台風19号 被災者救援募金



東日本に甚大な被害をもたらした台風19号で被災された方の生活支援のための募金を、公明党東京都本部代表、高木陽介衆議院議員とともに行いました。

被災された皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

防災行政無線が聞き取れなかった時のために

● 防災行政無線自動音声対応サービス

042-563-2411

※防災行政無線自動音声応答サービスでは、上記番号に電話をかけることで防災行政無線の放送内容を確認できます。防災行政無線を放送した3時間後まで内容を聞くことができます。

● 安全安心情報送信サービス

※市内の不審者出没情報など市民や子どもの安全に関する情報及び災害（地震・台風・大雨）情報を、あらかじめ登録していただいた携帯電話やパソコンへ電子メールで送信するサービスです。

hyamato.anzen@mpme.jp に空メールを送ると登録できます。



バーコードでも登録できます。

令和元年 第3回定例会 一般質問から

食品ロスの削減について

食品ロスとは「まだ食べられるのに捨てられている食べ物」のこと。

日本では年間600万トンもの食品ロスが発生しています。

国では2019年5月「食品ロス削減推進法」が成立。東大和市では、これまでもフードドライブ（家庭で眠っていき食材の寄付）や災害時の備蓄食糧のローリングストックなどの取り組みをすでに行ってきましたが、法律ができたことを機に更なる取り組みの必要性を訴えました。



市内プールの現状と今後のあり方について

日本全国でプールの老朽化が問題になっています。また、2018年夏の記録的な猛暑により「暑すぎて学校のプールを中止する」という、以前では考えられなかった気候変動が起きています。

市民プールの年間経費は750万円、市内15校のプールは合計1080万円、老朽化したプールを新たに更新した場合は1億4千万円かかります。



このような中で、学校の水泳授業を屋内プールで行っている海老名市を視察し、東大和市の今後のプールのあり方について、施設管理面、財政面、そして、水泳授業のあり方について確認しました。市内にある民間施設の利用等、あらゆる検討をはじめてほしいと訴えました。

市内の樹木の管理について

市民の方から、樹木に関するご要望を頂くなか、その多くは「高木化・老木化する樹木を切ってほしい」というものです。

一方、市が管理する樹木は、街路樹、公園、学校と数も多く、管理には沢山の経費がかかっています。あらためて、市が管理する樹木の数と年間経費を確認したところ、おおよそ、8500本（狭山丘陵、野火止用水、都立公園は除く）

で、年間7500万円の経費が掛かることがわかりました。

市が目指す「人と自然が調和した」東大和市となるよう、計画的に樹木の適正管理を行ってほしいと訴えました。



お問合せ・ご意見・ご要望は
東口まさみ後援会

TEL/FAX **042-564-4630**

東大和市仲原 2-8-10